

祝

大阪生薬協会新年互礼会が盛大に
開催されます事を心よりお慶び申し
上げます

二〇一七年がご参集皆様方にとり
まして大いに発展・飛躍される素晴
らしい一年となりますよう

あわせて益々のご活躍とご健勝ご多
幸を祈念いたします。

自民党厚生労働部会長
衆議院議員

とかしき なおみ



すがすがしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年におきましても、大阪生薬協会と本県との間で締結した協定に基づき、引き続き、役員の皆様方から、現地実証ほ場における熱心な技術指導を賜ったところであり、厚くお礼申し上げます。

おかげをもちまして、本年の薬用作物は順調に生育し、トウキについては、昨年11月に2度目の収穫を行うことができますとともに、省力的な機械作業等により、収穫量の増加も見込まれております。また、セネガについても、予想以上の高品質な収穫につながったものと考えております。今後は、まずこれら2品目の計画的な生産・出荷体制を構築することとしております。

中山間地域が県土の7割を占める山口県におきましては、薬用作物への期待が一層高まっており、私は、今後も技術革新をめざした栽培実証と産地化の推進を力強く進めていく考えであります。

皆様方には、さらなるご支援・ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

終わりに、大阪生薬協会の今後のますますの発展と、ご参会の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

平成29年1月5日

山口県知事 村岡嗣政